



附属中のみんなの工夫から学ぼう！②(学習方法)の巻

みんなの工夫シェア第2回は、学習方法の基本全般と、情報提供の多かった「暗記」について。みんな工夫してるんだなあ…！ちょっとしたことなだけけれども案外盲点だった、なんてこともあるかも。ぜひ取り入れてみてください。

Check!

01

勉強の仕方の基本の「キ」。足元、手近なところを見直そう。

計画・見通しを立てる

- ・休日や午前中で学校が終わる日などは、前日や勉強を始める前に勉強計画(時間と勉強内容)を書いている。
- ・何をどれくらいやるかを決め、メモしておく。



やるべきことを書き出しておけば見通しも立つね。誰かに予定を話すのも「やらなきゃ」感がでます。

質より量をこなして定着を図る

- ・知識問題などは質より量でこなしている
- ・教科書がある程度読んでから、ワークを2周解く。
- ・ワークを繰り返し解く。 ・できるまで解く。
- ・問題をたくさん解く。 ・とにかく何回もとく。
- ・前回できなかった教科を多くやるようにした。

授業に集中すべし！

- ・授業を真面目に聞く。
- ・授業で学習したことは、なるべく授業中に覚えるようにし、家での自学では新しく覚えることをなくし、復習だけでするようにしている。

学習効率のいい人は、授業を大事にしています。しっかり理解しようと集中しますし、知っていることでも、他の考え方がないかを確認したり、友達に教える場合を考えたりと、**頭をフル回転させて授業を徹底活用しています。**一日の約4分の1は授業。部活や遊びの時間も大切にするには、**授業にしっかり集中して時間を生み出すべし！**



答え合わせ・復習は「直後」に！

- ・問題を覚えているうちに丸つけをする。
- ・解答から丸つけまでの時間をできるだけ短くする。
- ・1ページ終わるごとに答えが合っているか確認する。
- ・解答を近くに置く。
- ・すぐ解き直しをする。



答え合わせや解き直しを後回しにすると、内容を忘れて結局効率が悪くなるんだよね。すぐやれば効率アップ！

復習しやすくする工夫

- ・授業中、先生が「テストに出す」と言ったところにマーカーを引き、テスト勉強のときにそれを見れば理解できるようにしている。
- ・あとで見返せるようにまとめた。
- ・自分が復習しやすいようにまとめる。
- ・授業ノート(主に塾の数学など)で過去に解いた問を見返す。

授業でも自学でも、復習にこういうメモをうまく活用したい！



「間違えた・あいまい・わからない」への対処

- ・曖昧なものは必ず確認する。
- ・その日にやった授業の内容を振り返り、わからない所は似た問題をとく。
- ・間違えたところにチェックを付けて覚える。
- ・難しいところはメモしておく。
- ・間違えた問題をノートにメモし、それを見て復習する。
- ・間違えた問題の応用問題を見つけて集中的に学習する。
- ・間違えたところは、解説をそのまま写すのではなく、理解できるまで読んで、できれば何も見ずに自分の言葉でまとめる。

これはとても大事！自分の言葉でのまとめはすごく力がつく！

Check!

02

思考するにはまず知識が必要、でも知識を定着させるにはどうしたら…？

量と回数がやはり大事

- ・何度も重要な単語を書く
- ・覚えたいこと(英単語など)を5回書いて覚える。
- ・暗記系は反復学習で何度もやり直したオレンジペンで重要なところを書きそこを赤シートで隠し、暗記したいところを反復練習するようにしている。

反復練習しやすくしよう

Quizletなどのサイト・アプリも便利かも。

- ・暗記科目はテキストに書いた答えを赤シートを使って解く
- ・赤い下敷きを使って、赤ペンで書いた部分をノートに書かなくても復習ができるようにした
- ・オレンジペンで重要なところを書きそこを赤シートで隠し、暗記したいところを反復練習するようにしている。

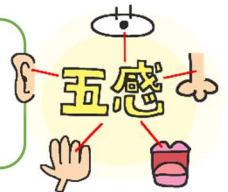
いつやる？



- ・夜に用語などを暗記して、朝に復習すると、かなり覚えやすくなった。
- ・暗記系は、朝起きたときと、夜寝る前に復習する。
- ・頭を使う問題は日中に解く。

インプットの仕方を変えてみる

- ・自分が覚えやすい方法でやっている。
- ・変なゴロをつけて勝手に解釈して納得して覚える。
- ・覚えきれていない単語は口に出しながらやる。
- ・覚えにくいものは口に出したりする。



見るだけ・読むだけではなくて、声に出したり手の感覚と結び付けたりと、五感をフル活用してみよう！

附属中のみんなの工夫から学ぼう！②(学習方法)の巻

みんなの工夫シェア第2回は、学習方法の基本全般と、情報提供の多かった「暗記」について。みんな工夫してるんだなあ…！ちょっとしたことなだけけれども案外盲点だった、なんてこともあるかも。ぜひ取り入れてみてください。

Check!

01

勉強の仕方の基本の「キ」。足元、手近なところを見直そう。

計画・見通しを立てる

- ・休日や午前中で学校が終わる日などは、前日や勉強を始める前に勉強計画(時間と勉強内容)を書いている。
- ・何をどれくらいやるかを決め、メモしておく。



やるべきことを書き出しておけば見通しも立つね。誰かに予定を話すのも「やらなきゃ」感がでます。

質より量をこなして定着を図る

- ・知識問題などは質より量でこなしている
- ・教科書がある程度読んでから、ワークを2周解く。
- ・ワークを繰り返し解く。 ・できるまで解く。
- ・問題をたくさん解く。 ・とにかく何回もとく。
- ・前回できなかった教科書を多くやるようにした。

授業に集中すべし！

- ・授業を真面目に聞く。
- ・授業で学習したことは、なるべく授業中に覚えるようにし、家での自学では新しく覚えることをなくし、復習だけでするようにしている。

学習効率のいい人は、授業を大事にしています。しっかり理解しようと集中しますし、知っていることでも、他の考え方がないかを確認したり、友達に教える場合を考えたりと、**頭をフル回転させて授業を徹底活用しています。**一日の約4分の1は授業。部活や遊びの時間も大切にするには、授業にしっかり集中して時間を生み出すべし！



答え合わせ・復習は「直後」に！

- ・問題を覚えているうちに丸つけをする。
- ・解答から丸付けまでの時間をできるだけ短くする。
- ・1ページ終わるごとに答えが合っているか確認する。
- ・解答を近くに置く。
- ・すぐ解き直しをする。



答え合わせや解き直しを後回しにすると、内容を忘れて結局効率が悪くなるんだよね。すぐやれば効率アップ！

復習しやすくする工夫

- ・授業中、先生が「テストに出す」と言ったところにマーカーを引き、テスト勉強のときにそれを見れば理解できるようにしている。
- ・あとで見返せるようにまとめた。
- ・自分が復習しやすいようにまとめる。
- ・授業ノート(主に塾の数学など)で過去に解いた問を見返す。

授業でも自学でも、復習にこういうメモをうまく活用したい！



「間違えた・あいまい・わからない」への対処

- ・曖昧なものは必ず確認する。
- ・その日にやった授業の内容を振り返り、わからない所は似た問題をとく。
- ・間違えたところにチェックを付けて覚える。
- ・難しいところはメモしておく。
- ・間違えた問題をノートにメモし、それを見て復習する。
- ・間違えた問題の応用問題を見つけて集中的に学習する。
- ・間違えたところは、解説をそのまま写すのではなく、理解できるまで読んで、できれば何も見ずに自分の言葉でまとめる。

これはとても大事！自分の言葉でのまとめはすごく力がつく！

Check!

02

思考するにはまず知識が必要、でも知識を定着させるにはどうしたら…？

量と回数がやはり大事

- ・何度も重要な単語を書く
- ・覚えたいこと(英単語など)を5回書いて覚える。
- ・暗記系は反復学習で何度もやり直したオレンジペンで重要なところを書きそこを赤シートで隠し、暗記したいところを反復練習するようにしている。

反復練習しやすくしよう

Quizletなどのサイト・アプリも便利かも。

- ・暗記科目はテキストに書いた答えを赤シートを使って解く
- ・赤い下敷きを使って、赤ペンで書いた部分をノートに書かなくても復習ができるようにした
- ・オレンジペンで重要なところを書きそこを赤シートで隠し、暗記したいところを反復練習するようにしている。

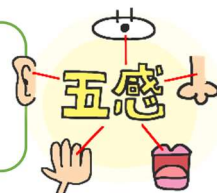
いつやる？



- ・夜に用語などを暗記して、朝に復習すると、かなり覚えやすくなった。
- ・暗記系は、朝起きたときと、夜寝る前に復習する。
- ・頭を使う問題は日中に解く。

インプットの仕方を変えてみる

- ・自分が覚えやすい方法でやっている。
- ・変なゴロをつけて勝手に解釈して納得して覚える。
- ・覚えきれていない単語は口に出しながらやる。
- ・覚えにくいものは口に出したりする。



見るだけ・読むだけではなくて、声に出したり手の感覚と結び付けたりと、五感をフル活用してみよう！



附属中のみんなの工夫から学ぼう！②(学習方法)の巻

みんなの工夫シェア第2回は、学習方法の基本全般と、情報提供の多かった「暗記」について。みんな工夫してるんだなあ…！ちょっとしたことなだけけれども案外盲点だった、なんてこともあるかも。ぜひ取り入れてみてください。

Check!

01

勉強の仕方の基本の「キ」。足元、手近なところを見直そう。

計画・見通しを立てる

- ・休日や午前中で学校が終わる日などは、前日や勉強を始める前に勉強計画(時間と勉強内容)を書いている。
- ・何をどれくらいやるかを決め、メモしておく。



やるべきことを書き出しておけば見通しも立つね。誰かに予定を話すのも「やらなきゃ」感がでます。

質より量をこなして定着を図る

- ・知識問題などは質より量でこなしている
- ・教科書がある程度読んでから、ワークを2周解く。
- ・ワークを繰り返し解く。 ・できるまで解く。
- ・問題をたくさん解く。 ・とにかく何回もとく。
- ・前回できなかった教科を多くやるようにした。

授業に集中すべし！

- ・授業を真面目に聞く。
- ・授業で学習したことは、なるべく授業中に覚えるようにし、家での自学では新しく覚えることをなくし、復習だけでするようにしている。

学習効率のいい人は、授業を大事にしています。しっかり理解しようと集中しますし、知っていることでも、他の考え方がないかを確認したり、友達に教える場合を考えたりと、頭をフル回転させて授業を徹底活用しています。一日の約4分の1は授業。部活や遊びの時間も大切にするには、授業にしっかり集中して時間を生み出すべし！



答え合わせ・復習は「直後」に！

- ・問題を覚えているうちに丸つけをする。
- ・解答から丸つけまでの時間をできるだけ短くする。
- ・1ページ終わるごとに答えが合っているか確認する。
- ・解答を近くに置く。
- ・すぐ解き直しをする。



答え合わせや解き直しを後回しにすると、内容を忘れて結局効率が悪くなるんだよね。すぐやれば効率アップ！

復習しやすくする工夫

- ・授業中、先生が「テストに出す」と言ったところにマーカーを引き、テスト勉強のときにそれを見れば理解できるようにしている。
- ・あとで見返せるようにまとめた。
- ・自分が復習しやすいようにまとめる。
- ・授業ノート(主に塾の数学など)で過去に解いた問を見返す。



授業でも自学でも、復習にこういうメモをうまく活用したい！

「間違えた・あいまい・わからない」への対処

- ・曖昧なものは必ず確認する。
- ・その日にやった授業の内容を振り返り、わからない所は似た問題をとく。
- ・間違えたところにチェックを付けて覚える。
- ・難しいところはメモしておく。
- ・間違えた問題をノートにメモし、それを見て復習する。
- ・間違えた問題の応用問題を見つけて集中的に学習する。
- ・間違えたところは、解説をそのまま写すのではなく、理解できるまで読んで、できれば何も見ずに自分の言葉でまとめる。

これはとても大事！自分の言葉でのまとめはすごく力がつく！

Check!

02

思考するにはまず知識が必要、でも知識を定着させるにはどうしたら…？

量と回数がやはり大事

- ・何度も重要な単語を書く
- ・覚えたいこと(英単語など)を5回書いて覚える。
- ・暗記系は反復学習で何度もやり直したオレンジペンで重要なところを書きそこを赤シートで隠し、暗記したいところを反復練習するようにしている。

反復練習しやすくしよう

Quizletなどのサイト・アプリも便利かも。

- ・暗記科目はテキストに書いた答えを赤シートを使って解く
- ・赤い下敷きを使って、赤ペンで書いた部分をノートに書かなくても復習ができるようにした
- ・オレンジペンで重要なところを書きそこを赤シートで隠し、暗記したいところを反復練習するようにしている。

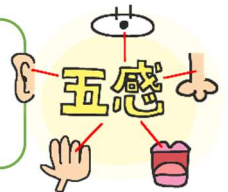
いつやる？



- ・夜に用語などを暗記して、朝に復習すると、かなり覚えやすくなった。
- ・暗記系は、朝起きたときと、夜寝る前に復習する。
- ・頭を使う問題は日中に解く。

インプットの仕方を変えてみる

- ・自分が覚えやすい方法でやっている。
- ・変なゴロをつけて勝手に解釈して納得して覚える。
- ・覚えきれていない単語は口に出しながらやる。
- ・覚えにくいものは口に出したりする。



見るだけ・読むだけではなくて、声に出したり手の感覚と結び付けたりと、五感をフル活用してみよう！